

施策評価シート（評価実施年度：平成27年度）

事務事業所管部局長 (幹事部局)	環境生活部長 新田 英夫	電話番号	0852-22-5231
---------------------	--------------	------	--------------

①施策の目的等

施策の名称	施策Ⅲ-4-2 自然とのふれあいの推進
目的	○自然公園・森林公園や自然学習施設を自然の観察や環境学習の場として活用し、県民の身近な自然とのふれあいを推進します。

②成果参考指標の目標（実績）と施策の現状、及びその評価

数値目標	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位	数値目標	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
自然公園等の年間利用者数	目標値		840.00	840.00	840.00	840.00	万人	自然学習施設の年間入場者数	目標値		660.00	660.00	660.00	660.00	千人
	取組目標値								取組目標値						
	実績値	874.00	849.30	931.30	1,491.6				実績値	636.00	659.30	677.60	620.70		
	達成率		101.10	110.90	177.60				達成率		99.90	102.70	94.10		
定性目標	目標値						%	平成24年度～平成27年度	目標値						%
	取組目標値								取組目標値						
	実績値								実績値						
	達成率								達成率						
成果参考指標の実績等の補足説明（任意記載）	<p>○自然公園、自然歩道の利用者数は出雲大社を中心に大幅に増加し、目標値を上回った。</p> <p>○自然学習施設（3施設）の利用者は62万人で、目標値（66万人）を下回った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 三瓶自然館サヒメルは中国地方での豪雨災害による団体利用の中止等の影響もあり146.7千人（前年比40.9千人減） 宍道湖自然館ゴビウスは平成26年度改修工事に伴い展示スペースを一部閉鎖した影響もあり105.0千人（前年比7.9千人減） しまね海洋館アクアスは台風接近によるイベント中止やETC割引率の減少の影響もあり369千人（前年比8千人減） 														

③評価時点での施策目的に対する現状

評価時点で施策目的に対する現状 (客観的事実・データなどに基づいた施策の現状や取組状況)	<p>○自然公園、自然歩道の利用については、施設の修繕を計画的に行い、パンフレットの作成や標識を整備して、県民の身近な自然観察の場を提供している。</p> <p>○隠岐ジオパークについては、施設整備や地元協議会の活動支援により人材育成、情報発信などすすめた。</p> <p>○サヒメルでは、年3回の企画展やイベント実施により集客に努めた。</p> <p>○ゴビウスでは、企画展（3回）、団体向けプログラム（106回）や季節ごとのトピック展示（14回）のほか、H26年度からは、特別展の開催回数（2回→3回）を増やすなど来館者サービスの向上を目指した創意工夫を行っている。</p> <p>○アクアスでは、台風接近によるイベントの中止やETC割引率の減少といったマイナス要因の影響が大きいなか、多くの集客が見込める山陽方面へのPRなど集客対策を実施している。</p> <p>○しまね花の郷では、10周年の記念イベントの他しまねの花振興5品目を中心とした企画展示、1年を通じて楽しめる植栽管理、近隣施設と連携したイベント開催などにより花のPRを図り、目標入場者数を達成した。</p>
---	--

④総合的な評価

評価時点での総合的な評価 A:順調に進んでいる B:概ね順調に進んでいるが見直す点もある C:あまり順調に進んでいない	判断	その理由
	B	<p>○サヒメルでは、企画展の開催や広範な情報発信（新聞、ホームページ等）などにより、県民の身近な自然とのふれあいの推進が図られているが、展示関係施設・設備の経年劣化が進んでいる。</p> <p>○ゴビウスでは、H26年度に飼育設備とマルチスペース改修工事を行ったことにより、館内改修後は前年度を上回る入館者数となっている。</p> <p>○アクアスでは、水生生物を間近で観察できるとともに各種講座等を開催することで、多くの県民に自然の観察や環境学習の場を提供している。</p> <p>○自然公園については、計画的な整備と広報PRに努めたことにより、安全で快適な利用が確保されている。</p> <p>○隠岐世界ジオパークについては、地域の機運醸成が進み、地域資源の活用検討などが進んでいる。</p>

⑤課題の認識

(1)平成27年度末の施策目的の達成状況（予測） A:達成できる B:概ね達成できる C:達成は困難	判断	その理由（「総合的な評価」の「判断」と異なる「判断」の場合のみ記載）
	B	
(2)施策の目的達成に向けての課題	<p>○自然公園、自然歩道の安全かつ快適な利用のため、施設の水準を維持・向上していく必要がある。また、広報を強化し、自然好きなファンだけでなく幅広い利用者を開拓していく必要がある。</p> <p>○隠岐世界ジオパークは、地元協議会の活動等の支援を継続するとともに、活用を推進していく必要がある。</p> <p>○サヒメルでは、展示施設や設備が老朽化してきている中で、より魅力ある企画展を開催していく必要がある。三瓶小豆原埋没林公園は、先ず保存と安全対策を行う必要がある。その後、両施設全体の展示解説施設・設備について、再整備を目指して検討する必要がある。</p> <p>○ゴビウスでは、水生生物の飼育・展示という施設の性格上、設備機器の小さな不具合でも運営の可否に直結する。したがって、速やかな修繕及びそれに伴った費用の確保と、限られた予算内で運営に当たるため、コスト削減に取り組む必要がある。</p> <p>○アクアスでは、来館者及びリピーターに向けた広報強化など集客力の向上、展示の魅力向上に努めるほか、施設・設備の老朽化対策が必要である。</p> <p>○しまね花の郷では、施設・設備の老朽化対策を行うと共に、より多くの来場者に花に触れあってもらえる場づくりが必要である。</p>	

⑥今後の取組の方向性

課題解決に向けての今後の取組の方向性	<p>○サヒメルでは、企画展の充実や、学校、他の教育施設との連携を強化する。「三瓶青少年交流の家」利用者の研修利用も幅広く誘致する。</p> <p>○ゴビウスでは、隣接の宍道湖グリーンパークと連携した企画・広報・営業努力により安定した入館者を確保するとともに、施設の長期的な維持保全を念頭に、保全・改修費を含めたランニングコストを低減の見地に立って飼育設備改修工事を行っていく。</p> <p>○アクアスでは、PRの強化、魅力ある展示への変更を検討・実施することで集客力の向上を図るとともに長寿命化計画に基づく計画的な修繕を実施する。また、各種講座・特別企画展の開催、学校・ボランティアとの連携や飼育生物の繁殖技術の向上などの学習、調査研究事業に引き続き取り組む。</p> <p>○自然公園、自然歩道については、施設老朽化や利用状況などの現況を把握し、計画的な維持修繕を図る。あわせて、市町村の協力やボランティアによる整備等によりコストの削減を図る。また、標識整備等により利便性向上を図り、自然歩道のPRやマスコミ等の協力により広報を強化することで利用者の増加につなげていく。</p> <p>○隠岐世界ジオパークについて、その価値をわかりやすく県内外に情報発信し、隠岐地域における自然とのふれあいを推進する。</p> <p>○しまね花の郷では、園内花壇の充実や観光協会や近隣施設と連携したイベントの開催や様々な手法も使ったPR活動の実施により集客数の増加を図っていく。</p>
--------------------	--